

六本木地区

売買状況 (土地・建物)

転売業者、不動産担保評価の会社からの問合せや訪問から、引続きビル購入のニーズは高いと思われる。
しかし、現実の物件は利回り4%以下ばかりで取引の話はあまり聞かれない。

六本木4丁目で最近2年間に渡り、複数のSPC間で受益権売買が繰り返されていた物件2棟が6月に売却され、それ以降入居テナントの立退きの話が進んでおり、今後のビルの動向に興味を持たれている。

賃貸状況

9月以降から年内開業希望のお客様の動きが多く、募集看板やネット情報の反響も増えてきていた。

20坪前後の居抜バー・スナック、30～40坪の飲食店(焼肉店、バル等)、50坪超のラウンジ系店舗、100坪以上のクラブ(踊り)が求められている。
特に6月からの改正風営法施行により、大箱の引き合いが増えている。

長期で探されている方、立退き等で代替物件を探されている方を含め、出店意欲は高く空室が全体的には減少しており、造作譲渡で高い金額で買い手がいれば売ることを検討するという方もいた。

賃料は基準階で坪2～3万円で推移している。
事務所仕様での美容系店舗・マッサージ店の需要も多い。

街の状況

12月は街もクリスマスモード一色となり、ミッドタウンや六本木ヒルズではイルミネーションが点灯し、クリスマスマーケットが10周年を迎え、平日の夜でもカップルや外国人観光客で賑わいを見せていた。

1月にはミッドタウンに期間限定で都内最大級の屋外アイススケートリンクが設置され、夜になるとイルミネーションの中で滑ることが出来るとあって、話題のイベントとなっている。